

公共事業再評価調書

主管課： 港湾課

1 事業概要	事業名： 前泊港(伊平屋村)港湾改修事業					
	事業種別： 港湾改修事業	事業主体： 沖縄県		当初事業期間： H6～H18		
	事業箇所： 伊平屋村	根拠法令： 港湾法 S47.5.15		事業期間： H6～H20		
	総事業費(百万円) 7,774	費用内訳： 補助 9/10		事業量： 防波堤、航路		
(整備目的)	伊平屋村の経済・生活を支える拠点港として重要な役割を果たしている前泊港の静穏性の向上を図り、船舶の定時性・安全性を確保する。					
2 再評価 該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業採択後10年間を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業採択後5年間を経過して未着工 <input type="checkbox"/> ③ 再評価後一定期間(年)を経過 <input type="checkbox"/> ④ 事業の中止					
3 再評価に至 った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期 <input type="checkbox"/> ⑨ その他					
4 事業の 進捗状況 (H16.2月時点)	項目	事業費(百万円)	防波堤(沖)(東)(m)	防波堤(北)改良(m)	航路(m ²)	用地取得(千m ²)
	計画	7,774	230	858	17,600	-
	実施済	5,594	228	0	0	-
	率	72%	99%	0%	0%	-
5 事業効果の 評価指標 (検討年50年) (基準年H15) (単位:百万円)	① 移動輸送時間削減		28,734	① 建設費		7,385
	② 延泊回避		1,437			
	③ 営業時間損失		466			
	④ その他		925			
総便益		31,562	総費用		7,432	
基準年換算 (B)		12,899	基準年換算 (C)		8,269	
費用便益比 (B/C) = 12,899 / 8,269 = 1.56						
6 事業を巡る 状況の変化	① 社会・経済： 入込客数及び港湾取扱貨物量は年々増加しており、島外との唯一の交通手段である定期船の基地港として、また経済や生活を支える拠点港として本港の重要性は益々高まっている。					
	② 地元・自治体： 本港の静穏性の悪さから定期船の就航率も低く、早期整備の要望がある。					
	③ 利害関係者： 漁業関係者(モズク養殖)とは、工事の施工時期について調整済みである。					
7 事業の必要性 ・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 前泊港の静穏性の向上を図り、定期船の就航率の向上や船舶の安全性を確保するため早期に整備する必要がある。					
	② 事業の効率性(代替案等の可能性)： 防波堤(沖)(東)が平成15年度に完成予定であり、引き続き現計画どおり既設の防波堤(北)の改良、航路拡幅を推進することが効率的である。					
	③ 事業効果の発現状況： 防波堤(沖)(東)がほぼ完成し、港内の静穏性と港口部の船舶の安全性が向上している。					
8 今後の対応 方針・見直し	① 事業計画等： 平成15年度で防波堤(沖)(東)を完成させ、予定どおり防波堤(北)の改良及び航路拡幅に着手し、平成20年度事業完了を目指す。					
	② 対住民関係： 特に問題なし。					
	③ 執行体制等： 現体制で取り組んでいく。					
9 評価	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止					